

高齢運転者支援係を新設

道警函本 交通課内

講習など手続き円滑に

道警函館方面本部は、交通課内に高齢運転者支援係を新設する。免許更新時の高齢者講習などをより円滑に行い、65歳以上の運転者による交通事故減少につなげたい考えだ。

(山田大輔)

新たな係は10月1日付けで、函館市石川町の函館運転免許試験場内に設置。一定期間に複数回事故を起こした高齢者に対して個別指導する「シルバー・ドライバーズ・サポートプログラム」を専門で扱う。

また、高齢ドライバーが増加する一方、運転免許更新の際に義務付けられている高齢者講習(70歳以上)と認知機能検査(75歳以上)の予約待ちが増えている現

新たな係は10月1日付け

状を踏まえ、円滑な受講、

33件起きている。

受検態勢を整える。高齢者向けの窓口を一本化し、免許の自主返納の相談にも応じる。

道警は、同様の係を旭川、釧路、北見の各方面本部に設置するほか、警察本部運転免許センター運転免許試験課に高齢運転者支援室を新たに設ける。

同本部によると、昨年管内で発生した65歳以上が第1当事者の人身事故は22

9件あり、全体の28・6%を占めた。高齢者の事故割合は年々高くなっており、

5年前と比べて7・1%増加。今年は8月末までで、

高齢者の交通事故が既に1

加。今年は8月末までで、